

海外との交流 ～先進する諸外国から学ぶ～

●●●フィンランドのエウラヨキ町長との意見交換等を実施しました●●●

9月21日（水）に開催された「寿都町対話の場」にて、世界で初めて最終処分場の建設を進めているフィンランドのエウラヨキ町 ヴェサ＝ラカニエミ町長にオンラインでご講演いただくとともに、意見交換等を行いました。



エウラヨキ町長の講演



エウラヨキ町

当日は、フィンランドの最終処分をめぐるこれまでの経緯や背景、現在の様子や現地の事情などについてご講演いただいた後、対話の場会員の皆さまと質疑応答や意見交換を行いました。

会員の皆さまからは、高レベル放射性廃棄物等の最終処分場に選定される前後の賛否の割合の変化についてのご質問や、日本でも若い人にもっと地層処分事業について知ってもらう取り組みが必要との意見など、活発な意見交換が行われました。



当日の資料や
ライブ配信映像
についてはこちら

<https://www.numo.or.jp/chisoushobun/ichikara-shiritai/taiva/suttu.html?param=sec12>



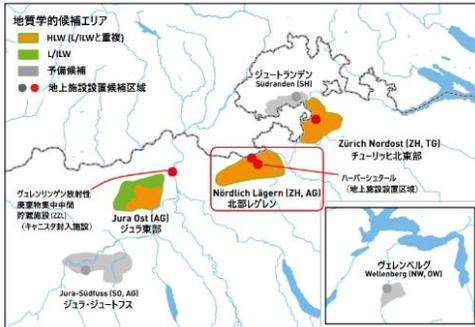
各国の取り組み状況
についてはこちら

<https://www.numo.or.jp/chisoushobun/overseas/efforts.html>

----- 講演のポイント -----

- 長年にわたり安全に稼働している原子力発電所が近接しており、エウラヨキ町の町民が原子力事業に馴染み、その恩恵を受けてきた。
- 新たな雇用が生まれ、町民の多くが原子力産業に関わる仕事に従事している。
- 町と事業者間で活発、かつオープンな対話が続けられたことにより、信頼関係が構築されてきた。
- 町民の多くが最終処分を支持している。

スイスで地層処分場の候補地が提案されました



スイス 最終処分地の候補地

(出典：原子力環境整備促進・資金管理センター 海外情報ニュースフラッシュ「スイスでNAGRAが北部レゲレンを地層処分サイトとして提案」(2022年9月13日)
<https://www2.rwmc.or.jp/nf/?p=29748>

スイスの地層処分実施主体である放射性廃棄物管理共同組合（以下、NAGRA）は、約14年間にわたって調査した結果、スイス北部の「北部レゲレン」を地層処分場の最良の立地点としてスイス連邦政府に提案しました。NAGRAは2024年にも、これらの施設の建設に向けて「概要承認許可※」をスイス連邦エネルギー庁に申請する方針です。

申請書は、規制機関や関係当局、専門家委員会等による審査を経て、連邦参事会（内閣）と議会が可否を決定します。この決定について国民投票の実施が提案された場合は、スイス国民に最終判断が委ねられます。

※原子力法に基づく原子力施設の導入に際しての最初の許認可手続きであり、スイス特有のもです。

スイスの進捗状況について

NUMO理事長 近藤と
NAGRA ヴォンヴォリス博士 →

NUMOは国内外の叢智を結集し、地層処分の技術力向上に努めています。9月21日には、NAGRAエグゼクティブアドバイザー ヴォンヴォリス博士がNUMOの事務所に来構し、スイスにおける候補地選定の過程や決め手のほか、処分場建設に向けた今後のスケジュール等についてご講演いただきました。



「文献調査の今後の進め方について」提案されました

9月6日に開催された、第37回「総合資源エネルギー調査会電力・ガス事業分科会 原子力小委員会 放射性廃棄物ワーキンググループ」で、2013年から2017年にかけて設置されていた「地層処分技術ワーキンググループ」の再始動や文献調査段階の評価の考え方、情報発信等について提案されました。



▲ 当日の資料や配信映像についてはこちら

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/genshiryoku/hoshasei_haikibutsu/037.html



Instagramに新シリーズの投稿を開始！

これまでには地層や地下施設などの風景写真を投稿してきましたが、このたび新シリーズの投稿を開始！NUMOマスコットキャラクター「ゲーモ」の手作りのイラストを用いて、地層処分の内容や鉱石を紹介するなど様々な投稿をお届けします。

